

常盤の翠

志・寛・錬

発行

平成30年12月21日

鹿児島市立伊敷中学校

ペッパージンがダウンした日 校長 寺園 伸二

ソフトバンク社が開発したペッパージンを知っていますか。大規模商業施設では案内をしたり、お客さんと一緒におしゃべりやゲームをしたり、回転寿司店では受付をしたりと、東京などの大都市圏ではかなり見かけるようになりました。ロボットやAIが日常になると言われるソサエティ5.0のような近未来の世界を想像させてくれるペッパージンです。

そんな、ペッパージンが、先日のソフトバンク社の通信障害で一斉にダウンするという事件が起きました。ロボットが、私たちの身近な日常に溢れるであろうといわれている次の時代の脆弱性を露見することになったのです。私たちはAIやロボットの導入によって便利で快適な社会を期待していますが、反面、ひとたび停電や通信障害等が起これば、一挙に社会全体が機能停止に陥る危険性についても

考える必要があることを改めて突きつけられることになりました。



しかし、私が注目したのは全く別のことなのです。通信障害が起った直後、多くの人が対応への不満や近未来のロボット社会への不安、危機感をインターネット上に書き込みました。そんな中、機能停止に陥り、首をガクッと折り曲げて動けなくなってしまうペッパージンの画像がインターネット上に拡散し、それを見た多くの人が、ペッパージンへの励ましや感謝の言葉を書き込んだのです。「私の家の近くの回転寿司屋さんのペッパ

ー君はすぐくかわいくていつも癒やされています。」等々。ペッパージンは大量生産の機械ですから、特別なペッパージンは存在しないのですが、なぜかみんな「私の知ってるペッパージン」という言い方をするのです。同じ機械なのに身近にいるペッパージンに特別の愛情を感じてしまう。そこがいかにも人間らしく、正に、人間の特性をよく表していると思います。

私たちが「便利」だと感じるときの理由の一つに「つながりやすさ」があります。20年前の明治維新の頃に比べ、社会は圧倒的につながりやすくなりました。鉄道や道路などのインフラにしても、携帯やスマホ、インターネットなどの情報機器にしても、遠くの人と簡単につながることが出来るようになったのです。でも、「簡単につながる」からこそ、「深くつながる」ことの大切さが置き去りにされているのかもしれない。ペッパージンへの優しい書き込みを見て、人はどんな時代が来ても必ず「深いつながり」を求め続けるはずだと確信しました。だからこそ、挨拶や思いやり、優しさなど、これまで、人が人として大切にしてきたことを守っていくことが必要だと思います。

伊敷中の皆さん。「深くつながる」ことを大切にできる優しい人になりましょう。どんな時代が来ても、それが一番大切なはずです。人はつながりの中でしか生きていくことが出来ないのですから。

きんぎょく輝く、伊敷中学校。

2018年もまもなく終わりを告げようとしています。皆さんにとって、今年はどうな1年だったのでしょうか。

振り返ってみると、様々な場面で皆さんの活躍する姿が見られました。授業、生徒会活動、部活動、行事：一つ一つに自分や周囲の成長を感じることができたのではないのでしょうか。生活の記録や各学級の後ろに掲示されている行事の振り返り、あるいは志向の日の取組などからは、課題を見付けながらも、着実に前進している様子が読み取れます。前向きに教育活動を進めることができるのは、わたしたち教員にとってもうれしいことです。

さて、皆さんの頑張りを認めているのは、わたしたちだけではありません。保護者や地域の方々からそのような声が寄せられています。

・日頃の門礼に始まり、各行事ごとの取組を見ていて、伊敷中の生徒は意識が高いなと感じています。(己を律することができている) 親として自分も恥ずかしくない行動を取らないとな、とはっと気付かされます。

・演劇を待っている姿から、落ち着いていて、他校と全然違った。わたしたちに手を振ってくれたり、退場時のハイタッチも誰一人嫌がることなく素直に応じしてくれたりしてうれしくなりました。

・いろいろな学校をまわるけど、こんなに挨拶をしにくる学校は伊敷中ぐらいですよ。

・体育大会、文化祭、いろいろ最後まで見せてもらったが、どれも本当に素晴らしい。いつも感動させてもらっている。こんな立派な後輩をもつて、私は幸せに感じる。

【同窓会 上川路会長】

学校だけでなく、保護者や地域を含めた周りの人々に元氣や勇気を与え、幸せにできる——とても立派で素晴らしいことだと思います。しかも誰か一人の行動ではなく、集団としてそれができることが伊敷中の強みであるように思います。2019年もそういう伊敷中学校でありたいものです。



1月の主な行事予定

- 8日 始業式
- 9日 3年卒業テスト (錬成試験) ~11日
- 12日 土曜授業
- 15日 私立高校受験事前指導
- 16日 鹿児島学習定着度調査(1・2年) ~17日
- 18日 入学説明会・体験入学
- 24日 1年社会人に学ぶ
- 29日 テスト前部活動停止

絆を感じた入試激励会

12月18日(火)の全校朝会では、入試激励会が行われました。校長先生から「入試では点数だけを問われるのではない。そこに表われる人間性も問われているんだ。伊敷中でがんばった三年生なら大丈夫」と励ましをいただいた後、一年・二年生から激励の群読が行われました。



そこで読み上げられた言葉は、生徒会役員や代議員を中心に考えられた言葉です。「運命によって巡り会ったわたしたち」全員が三年生を応援しています。自分のBESTを尽くしてほしいと思います。気張れ！伊敷中三年生！

門松に迎えられ

12月15日(土)、父親セミナーの協力により、本年度も校門に門松が飾られました。年々参加者も増え、短時間で立派なものができあがりました。門松は幸せをもたらす神様が、迷うことなくやってくるように立てられるものです。来年も伊敷中学校に幸せがたくさん訪れますように。よいお年を。

